

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

- ア 中学校で学ぶ基礎的な学習内容が身につけており、基本的な生活習慣が確立している生徒。
- イ 本校に入学後においても学習や部活動・生徒会活動等に積極的に取り組む生徒。

2 選抜資料

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点
(2)調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3)学校設定検査（面接）	受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ10分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	20点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔165点満点〕

アの数値に、エについて加点(上限30点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点（上限30点）する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3)面接〔30点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価(各15点満点)を合計し、得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機、高校生活への意欲	志望の動機が明確である。 高校生活に対する目標・意識が明確である。
イ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
ウ 面接に臨む姿勢・態度・身だしなみ	基本的な面接作法が身に付いている。 面接に臨む態度・身だしなみが適切である。

4 選抜方法

(1)選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査(面接)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定(K=1)	加点	面接	
500点	135点	30点	30点	695点

(2)その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。